

中期経営計画評価表（22年度実績）

I 組織の概要

平成23年4月1日現在

1. 団体の基礎情報										
団体名	財団法人宇都宮市老人クラブ連合会									
所在地	宇都宮市中央1丁目1番15号 宇都宮市総合福祉センター内			設立年月	昭和59年3月					
市所管課	保健福祉部高齢福祉課			代表者	会長 野澤 正明					
ホームページアドレス	http://park11.wakwak.com/urouren/									
基本財産（資本金）	39,080千円		主な出資者		出資額		出資割合			
市出資額	5,000千円		会員寄付		5,000千円		12.8%			
市出資割合	12.8%		旧組織		910千円		2.3%			
			一円募金（基本財産造成募金）		27,350千円		70.0%			
設立目的等	市内老人クラブの育成指導と連絡調整を図り、併せてクラブ活動の充実強化を推進して、老人福祉の増進と社会の発展に寄与することを目的とする。									
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ及び地区連絡協議会の育成指導及び連絡調整 老人クラブ活動推進のための調査研究及び総合的企画 老人クラブ活動についての広報活動 老人福祉向上のための事業 その他目標達成のために必要な事業 									
2. 団体の組織・人員情報										
役職員数	役員数	理事	1	1	0	嘱託・臨時等	17	0	計	18
		監事	0	0	0		2	0		2
	職員数	2(1)	1(1)	0	1		0	3(1)		
	計	2	1	0	20		0	合計		22
常勤役員	平均年齢（歳）	—	平均年収（千円）	—	情報公開制度の有無	○				
常勤職員	平均年齢（歳）	57.0	平均年収（千円）	6,366	個人情報保護体制の有無	○				
3. 財務状況										
貸借対照表から	項目	金額（千円）			備考					
		21年度決算	22年度決算	23年度予算						
	総資産	59,927	60,649	58,772						
	負債	23,805	24,934	15,369	うち損失補償等を行っている額（千円）					
	（うち市からの借入金残高）	0	0	0	0					
純資産	36,122	35,715	35,541							
（うち利益剰余金）	36,122	35,715	35,541							
※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。										
損益計算書から	項目	金額（千円）			備考					
		21年度決算	22年度決算	23年度予算						
	総収入	31,676	32,370	31,028						
	（うち市補助金等）	25,582	26,239	24,538						
	（うち市委託料等）	0	0	0						
	経常損益	△ 549	△ 407	△ 174						
減価償却前当期損益	△ 501	△ 349	△ 114							
当期損益	△ 549	△ 407	△ 174	税の減免額（千円）						
※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。										
4. 経営改革に関する平成19年度～21年度までの主な取組										
<ul style="list-style-type: none"> 老人クラブ活動の活性化に向けた取り組みを行い、会員数増加を目指すとともに、小規模クラブへの支援を行うことにより、新規クラブの掘り起しを行った。 クラブ活動の指針や活動内容、社会的役割等を明文化した「老人クラブの手引き」を作成し、単位クラブに配布した。 毎年度、具体的な加入促進の目標設定を行い、加入促進運動を強力に展開し、会員増を図った。 情報公開要綱の制定やホームページの開設による情報の提供等、情報公開制度の充実に努めた。 										

1. 事業の充実・強化								
No	取組項目	目標	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
			基準値	実績値				
1	公益目的事業比率の向上	26年度末 76.6%	76.6%	77.5%				
2	会員数・クラブ数の増	26年度 5%増	365クラブ 20,462人	362クラブ (-1%) 20,479人 (+0.1%)				
3	友愛活動の充実	統一マニュアル等により実施	実施基準 が不統一	作成				
2. 経営の強化・効率化								
No	取組項目	目標	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
			基準値	実績値				
4	市からの補助金・負担金の適正化	職員の適正配置等を踏まえた補助金の適正化	22年度当初 27,616千円	26,239千円				
5	退職金制度にかかる検討	26年度 方向性の決定	検証	検証				
3. 組織・人員体制の強化								
No	取組項目	目標	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
			基準値	実績値				
6	常勤役職員の適正化	職員の適正配置	22年4月 職員3人体制	検証				
7	組織のあり方検証	3団体による方向性の決定	課題を 整理中	検証				
4. その他								
No	取組項目	目標	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
			基準値	実績値				
8	ホームページの充実	新しい公益法人制度に対応した情報の提供	一部実施	実施				
9	新公益法人制度改革への対応	24年度までに新制度に対応 (※)	特例民法 法人	準備				

※ 組織のあり方検証に併せ、新公益法人制度に対応した組織体制を整備することとしたため、目標を変更

IV 総括

団体評価	<p>友愛活動マニュアルの作成をはじめとした、活動の活性化など、一定の前進を見た。また、全国的に会員の減少が続いている中、会員数の増加が図られた。</p> <p>今後、組織の活性化、効率化を図るとともに、クラブ数や会員の増加に向け、引き続き組織の在り方の検証も含めた活動基盤の強化を図っていきたい。</p>
所管課評価	<ul style="list-style-type: none"> 「老人クラブのつどい」の開催や、イベント時に愛称、シンボルマークを活用しながら、会員の意識向上や市民へのPRに努めるとともに、活動マニュアルを作成する等、活動の活性化を図り、目標を達成させるための取組を予定通りに進めている。 単位老人クラブに対しては、具体的に活動活性化に向けた助言を行い、指導の充実に努めたことにより、会員数が増加し、成果を挙げている。 小規模クラブに対する支援も引き続き行い、老人クラブへの参画を促し、新規会員加入にも繋がっている。 組織の活性化、効率化を図るとともに、組織のあり方について、方向性の検討を行っており、組織基盤強化に努めている。